



謹賀新年

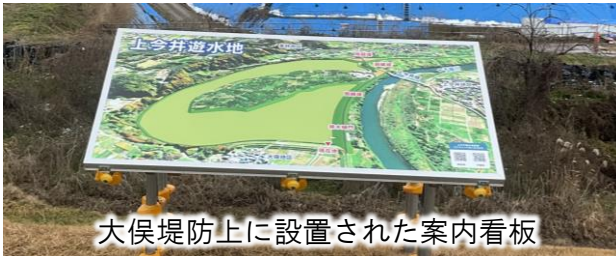


新年会の風景

写真:「ふるさとの年中行事」(著 豊田村教委)より

お知らせ

12月18日に大俣堤防上に上今井遊水地の案内看板を設置いたしました。看板右下のQRコードをスマホで読み込めば、上今井遊水地パンフレットもご覧いただけます。



大俣堤防上に設置された案内看板

新年の門出を祝うお正月では、ご家族、ご親族が集まり、また地域、職場等で新年会を催すことが多いかと思いますが、そうした宴席に欠かせないのが、締めが発声です。当地域周辺では古くから「御天領締め」が伝えられ、「ションション…」と独特の掛け声が発せられます。

この「ションション」という言葉の語源について歴史を紐解くと、かつて江戸幕府の天領だったところに由来があるとされ、当時「江戸締め」の手を叩く音として表現された「シャンシャンシャンシャンシャン…」という響きがなまって、「ションションション…」となったとされています。

また、北信地域特有の中締めの儀として「お肴謡(おさかなうたい)」も挙げられます。これは小謡を酒のさかなとして来賓に披露するもので、もてなす側が、座の決まりをつきたいと動議を出し、来賓に酒をついで小謡を披露。来賓はその後、お返しに酒をつぎ、同様に小謡を披露します。謡が表現しているのは、相手への礼儀やもてなしの心とされ、場の雰囲気に合わせて選曲も含めて、会の参加者への心配りが感じられる伝統の儀です。

新企画

千曲川河川事務所には長野県その他、新潟・富山・石川など様々な地方をルーツにもつ職員が勤務しています。そこで今月号より、職員のお国自慢、ご当地グルメ、北信地域との違いなど、職員のルーツにまつわる記事を掲載してまいります。コラムを通じ、興味を引かれる地方との出会いに巡り会えること、毎号楽しみを感じていただけたら幸いです。

河川事務所職員コラム ～ 信濃国二之宮～ 長野県中信地域出身男性職員

塩尻市高出交差点から始まる国道153号線(三州街道)を南進し、峠を越えると小野盆地に至ります。そこは、清少納言『枕草子』第六十二段「里は」に詠まれた「頼め(憑)の里」、かつて松本領と飯田領の領地争いのために南北に分割され、現在も辰野町小野と塩尻市北小野に分かれています。国道を跨ぎ大鳥居があり、北小野側の国道沿いに信濃国一之宮諏訪大社に次ぐ**信濃国二之宮小野神社・矢彦神社**(創建年不詳)が鎮座しています。



小野神社

卯と酉の年には御柱祭が行われ、古は「人を見たければ諏訪御柱、綺羅を見たければ小野御柱」といわれていたとか。かつて松本藩主小笠原秀政が大坂の陣出陣に際し、戦勝祈願のため松本藩林より御柱木を寄進、以来、幕末に至るまで松本藩主が御柱木を奉納し、御柱祭には松本藩内52ヶ村が参加していたそうです。



矢彦神社

広さは3.6ha、約150種の植物が生育する社叢は県指定天然記念物に指定されています。領地争いに際し神社・境内も分割され、社殿など9棟は県宝に指定されています。

信州中野ICから約1時間半、二社それぞれから御朱印を授かれます。

お問合せ先

- 事業全般に関する事 千曲川緊急治水対策出張所 電話 0269-67-0450
- 用地補償に関する事 千曲川河川事務所 用地第一課 電話 026-227-7613
- 用地補償(上今井区前島・栗林区) 用地第三課 電話 026-227-0480
- 工事に関する事 中野出張所 建設監督官 電話 0269-22-2729



# 工事進捗状況

